

市政ニュース 速報版

2012年12月17日 日本共産党岡山市議団 NO.161
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

11月市議会閉会

11月議会が開会しました。日本共産党岡山市議団は98の議案のうち、国民健康保険条例の一部を改正する条例に反対しました。国保料の減免を行った場合、それを他の加入者の負担で埋め合わせることができるようにするという中身です。そもそも今回の条例化は国が国保の広域化を狙う中で出されたものです。地方分権を口実に国保料値上げのしくみを盛り込むことは認められません。

アユモドキ、支援学級へのエアコンなど陳情採択

今議会では4つの陳情が全会一致で採択されました。①アユモドキの産卵場所になっている休耕田を、市が買い取る前段階として借りることを求める陳情、②小中学校の支援学級にエアコンを設置することを求める陳情、③育児休業中でも3歳以上の児童が退園しなくてもよいことを求める陳情、④高齢者医療介護の計画をたてる時に介護事業者や高齢者を委員にすることなどを求める陳情です。一方、生活保護の引き下げをしないことを求める陳情、65歳以上の非課税の障害者の介護に自己負担が生じないことを求める陳情などは不採択になりました。

「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」はニーズ無視

保健福祉委員会と市民文教委員会の議論を経て「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」が実施に動くことになりました。一律に公立幼稚園・保育園の統廃合、民間委託、幼保一体化施設の推進につながる計画ですが、子どもを預ける場所がないという保留児の解決にはなりません。パブリックコメントで寄せられた600件を超える意見の多くが計画に不安や反対の意見でしたが、それにこたえる中身ではありません。実情をふまえない計画には賛成できないと、党市議



団は17日に反対の声明を出し、子ども子育て担当局長に手渡しました。